

第14回 O.P.I.C.症例検討会 平成20年10月4日

1) ISO9001:2000内部監査員からみた院内管理と感染予防対策

山田 貴子

ISOとはInternational Organization for Standardizationの略で1947年に設立された民間組織です。本部はスイスのジュネーブにあり、製品やサービスの国際取引のために、科学技術や経済活動などの標準化を推進する機構です。

ISO9001は、「提供する品質やサービスの顧客満足度の向上を目的」として規格化された国際規格です。

医療現場における品質とは治療と考えて下さい。安全で質の高い治療を患者さんに提供する事を目的として我々の診療所はISO9001:2000の認定を受けています。

どんな診療所でも院内管理や感染予防の対策は行っていると思います。治療の流れを全スタッフが理解し、治療に必要な機器や材料を点検し管理する。これらは医療現場では必ず行われている事です。しかしISO9001:2000の認定をされるにはこれだけでは十分ではありません。

ISOでは、患者さんに良い治療を提供するための目標を定めます。この目標を達成するための院内のマニュアルが作成され、その流れに沿って日々の診療行為、機器の管理、材料の保管、そして感染予防対策も行われます。それらは内部監査員によって定期的にチェックが行われ、スタッフのみならず、院長や勤務医に対しても行われます。

院内管理や感染対策などについての問題点が見つかったとその原因が調べられます。改善書が作成されマニュアルの見直しが行われます。

ISO9001では、新人医師やスタッフの教育なども義務化されています。

これらの結果はすべて文章での保管が義務づけられ、年に一度外部の機関から審査が行われます。

しかし、ISO9001はあくまで我々が日々の診療を安全でかつスムーズに進むように、我々自身で作りに上げて行くものであることを忘れてはなりません。

2) 矯正治療における歯科衛生士の役割と実際

上野山 敬子

矯正治療における歯科衛生士の役割には以下のようなものが考えられます。

1) 長期にわたる矯正治療中の患者さんを治療のゴールまで導くこと

- 2) 矯正装置装着中の口腔内の清掃状態を管理する
- 3) 矯正治療の準備やアシスタントを行う

今日は特に3)のチェアーサイドにおける準備とアシスタント業務について発表したいと思います。

矯正の器具には大きく分けて医療関係者が使用する プライヤーなどの器具類、そして患者さんの口の中に入る ブラケット関係、 ワイヤー関係、 ゴムやスプリングなどの補助器具などがあります。

私たちはこれらの使用目的と名称を覚えておくことが大切です。

矯正のプライヤーや器具類は、一般歯科の器具と違って学生時代には見ることが少なく、似ているものも多いのでしっかりと覚える必要があります。

ブラケットやワイヤーなどの装置は種類だけでなく、会社名、サイズ、形状、材質、装着部位などもしっかり把握しておく必要があります。

今日は実際の写真をスライドで提示しながら、器具の種類や使用方法、チェアーサイドでのアシスタントの仕方について発表したいと思います。

3) インプラント手術における器具の準備と実際

松本 智恵美

インプラント手術は特別な手術ではありません。口腔外科や歯周病の手術と同じように事前に患者さんの全身状態を把握し、十分な検査を行い、事前に感染のリスクを下げたければ特にリスクの高い手術ではありません。

術者をアシスタントする第1助手、第2助手、不潔域を担当する第3助手がそれぞれの立場の準備と仕事を確実に行うことが重要です。

その日の手術がスムーズに進むかどうかは、事前の準備によって大きく左右されます。インプラント手術の基本的な流れは下記のようになります。

今日は骨造成術（GBR）を併用したインプラント手術の準備を中心に事前の準備と実際について発表します。

- 1) 患者さんの誘導
- 2) モニター装着、計測（血圧・脈拍・酸素飽和濃度・心電図など）
- 3) シーツを装着、術野の消毒
- 4) 執刀医準備
- 5) 麻酔（モニター管理）
- 6) 手術施行・終了
- 7) モニター除去
- 8) レントゲン検査

- 9) 回復チェアへ移動
- 10) 執刀医説明
- 11) 術後の説明ほか

また骨造成術を併用した手術の一般的な流れ

- 1) 切開・剥離
- 2) パイロットドリル～最終ドリル
- 3) インプラント埋入
- 4) メンブレン試適・トリミング
- 5) メンブレン設置
- 6) 補填剤填入
- 7) メンブレン固定
- 8) 減張切開
- 9) 縫合